

調査番号		A-g-02			
名称	桧垣に吉祥花文様唐織			貴重度～5	☆☆☆☆
調査年月日	2005/12/19	調査者	藤井健三	銘記	
製作地	日本	製作年	江戸 18C前半		
織名称	唐織	法量縦	37.4cm	法量横	26.2cm
織耳	片耳アリ 0.5cm				
形状	裂地				
用途	能装束				
紋様	桧垣、牡丹、菊、梅、松文様			素材	
地色				染料・顔料	
織技法名					
染技法名					
地組織	経3枚綾(1)	耳部組織	経3枚綾(1)	耳部組織数	9
地経系素材	絹	経系色	紅	経系染材	
経系撚		経系上撚	甘Z/引揃	経系下撚	
経系密度	60/cm	緯系素材	絹	緯系色	紅
緯系染材		緯系撚		緯系密度	36/cm
緯系上撚	引揃	緯系下撚			
織幅	不明	織幅片耳	0.5cm		
地紋		地紋越仕様			
地紋組織					
地紋文丈		地紋文釜		地紋カマ数	
地紋カマ種類		地紋文把吊			
上文	浮織(色絵緯)及び綾トジ(金糸)	上文仕様		上文組織	緯3枚綾(ノ)
トジ組織	金糸部	*裏トジ	無し	経使用	
トジ		地揃トジ		地揃	1
地総		地経使用トジ	2及び模様トジ(絵糸部)	別揃トジ	
別揃		別地		別経使用トジ	
別揃経素材	絹	別揃経色	白	別揃経上撚	
別揃経撚・下撚		上文文丈	不明	上文文カマ	不明
上文カマ数	1	上文カマ種類		上文文把吊	5本
絵糸		胴		縫取	
素材1	絹	色1	紺、縹、浅葱	染材1	
撚1		上撚1	引揃	下撚1	
密度1	18本 半越	素材2	絹	色2	黄、萌葱
染材		撚2		上撚2	引揃
下撚2		密度2	半越	素材3	絹
色3	紫、白、水浅葱	染材3		撚3	
上撚3	引揃	下撚3		密度3	半越
素材4		色4		染材4	
撚4		上撚4		下撚4	
密度4		素材5		色5	
染材5		撚5		上撚5	
下撚5		密度5		箔系	
種類1	平金糸	箔系撚1		箔幅1	0.4mm
漆色1	透漆	芯系材1		箔系色1	
箔系上撚1		箔系下撚1		箔系密度1	半越
種類2		箔系撚2		箔幅2	
漆色2		芯系材2		箔系色2	
箔系上撚2		箔系下撚2		箔系密度2	
種類3		箔系撚3		箔幅3	
漆色3		芯系材3		箔系色3	
箔系上撚3		箔系下撚3		箔系密度3	
備考	平金糸と色絵緯で織り表す。平金糸は裏切りとし、絵緯糸は縫取りにする。一カマで方丈も長く、技術の発達した江戸中期の唐織である。絵糸部の浮糸を稲妻模様の模様トジを入れる。染色が極めて美しく高級な唐織である。希かに模様トジが見られる。A-g-03-01と同裂と思われる。				
解説					